

「CHC・OB会」 理事会会議録

開催回	第1回		
開催日時・場所	令和元年8月31日（土）午後4時～6時 新宿 TOKYU REIT Room2		
議長	木村会長	書記	成田理事
出席者	木村会長、島村副会長、松浦理事、熊田理事、岡田理事、久能理事、田方理事、飯田理事、成田理事 計9名		
配布資料	企画会が準備した資料		

項目	議事内容	その他の特記事項
1. 協議事項	<p>木村会長挨拶後、木村会長の進行で以下の項目が協議された。</p> <p>1. 新部歌募集要項について 島村副会長より説明がなされ、協議が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 交流キャンプ、賀詞交流会、戸隠スキーの案内と共に、9月に新部歌の募集要項をOB会員に送付する。 ➢ 新部歌は、募集要項上は、①全くのオリジナルとする、②現部歌の「尾瀬」のメロディーを編曲して使用するのいずれかとする。 <p>2. 現役・OB交流キャンプ開催概要について 飯田理事より説明がなされ、協議が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 11/16に氷川キャンプ場で開催する現役・OB交流キャンプについて、会費をOB：3,000円、現役：2,000円とし、それぞれ20名、計40名を集めての開催を目指す。 <p>3. OB会20周年記念・賀詞交流会開催概要について 久能理事より説明がなされ、協議が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 来年の1/25に開催する賀詞交流会は、初の試みとしてお昼の開催とする。時間は11時30分～14時00分。場所は新宿野村ビル50階の「天空の和食処 星空の中へ 新宿」。 ➢ 会費はOBは5,000円とするが、貸切対応のため出席者数が少なくても、50名分の料金がかかるため、積極的な告知を行う。 ➢ OB会旗をお披露目する。デザインは現役の部旗と同じ色使いで、総会資料や事務局からの送付物にも用いられている「Cマーク」の中に山が描かれたものとする。 <p>4. OB総会等に係る駿河台記念館の代替会場について 島村副会長より説明がなされ、協議が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 本年11月末で駿河台記念館の施設貸与が終了することとなることに伴い、次回のOB会総会の会場は別会場となる。 ➢ 今理事会を開催した「TOKYU REIT 新宿ビルのRoom1&2」を第一候補とする。その他、JA 東京南新宿ビル及びNMF 新宿南口ビル セミナールームAについても検討する。 	

項 目	議事内容	その他の特記事項
2. 報告事項	<p>1. 今後の広報体制について 久能理事より報告がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 新ホームページへの移行は現在進捗中。 ➤ O B 会員の最新の現住所情報を取得するため、会員転居報告用のアドレスを取得し、タイムリーに報告できるようにする。 <p>2. 60周年記念清掃ウォーキングについて 島村副会長より報告がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 60周年記念ウォーキングは、記念講演会の前段で開催する計画としていたが、再来年の現役・O B 交流キャンプの後段に開催することに変更する。 ➤ これに伴い、キャンプはデイキャンプではなく、宿泊キャンプにする。キャンプ翌朝に清掃ウォーキング開始場所に移動し、氷川キャンプ場まで清掃を行う。 ➤ 実施時期は、7月または11月。 ➤ 実施コースは、「奥多摩むかしみち」、「大多摩ウォーキング・トレイル」等を候補とする。 ➤ 今後、現役の医療・広報係と共に、プランを練っていく。 <p>3. 60周年記念講演会・パーティーについて 木村会長より報告がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和4年1月22日に開催する60周年記念講演会・パーティーについては、駿河台記念館が使えないため、まだ会場を選定できていない。 ➤ 中大理工学部は予約受付が直前。文京シビックセンターは抽選となるおそれがある。東京ドームホテルは高額。四ッ谷の主婦会館等の使用も検討。講演会とパーティーは同一の施設内が望ましい。 ➤ 講師については、CHC第3代の飯田さんを候補とし、木村会長から飯田さんの同期の蒲谷O B 会名誉会長を介して打診する。 <p>4. 現役支援について 田方理事より報告がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 田方副部長、飯田監督、成田ヘッドコーチとの間で、改めて現役への指導方針を確認した。部員の多様化に対応し、かつ、部員の自主性を活かした活動とすべく下支えをしていく。 ➤ 若手O B から現役へのメッセージ発信の仕組みを作っていく。社会に出て、ハイキング部の経験がいかんにかに活かしているかを伝えることが目的だが、まずはハードルを高くせず、O B になっても山行をしていることや同期会の報告等の情報を発信してもらい（個人が SNS で発信しているような）、現役が気づけていないハイキング部の魅力にも気づけるようにしていく。 	

項 目	顛末内容	その他の特記事項
次回理事会	次回開催日は木村会長及び島村副会長が調整の上、後日開催日案を各理事に連絡します。	
徹 底 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下期の行事等の発送文書については、9月末までに発送ができるよう、各位の協力をお願いします。 ○ 特に、現役との交流キャンプについては、スケジュール管理を行い参加できる態勢を整えてください。 ○ 交流キャンプの開催にあたり、同期等への参加依頼をお願いしたい。 	

CHC/OB会事務局